

交換・派遣留学帰国報告書

学部・学科： 国際学部・国際学科

学籍番号： _____

氏名： _____

※留学を希望している近畿大学学生があなたと連絡を取りたい場合、あなたのメールアドレスを学生に伝えることに同意しますか。

☒ 同意する ☐ 同意しない

同意する場合、連絡可能なメールアドレス _____

留学先国名： アメリカ合衆国

留学先都市： ウィルミントン

留学先大学： ノースカロライナ大学ウィルミントン校

留学先所属学部： なし

留学期間： 2018 年 8 月～ 2018 年 12 月

学年（出発時）： 3 年

帰国報告書提出日： 2019 年 1 月 18 日

1. 留学先大学について

(1) 留学先大学の特長

都会と田舎の間にあるウィルミントンの総合大学です。アメリカ南部の公立大学トップ10にランクインしています。ESL(English as second language)や教育学、ビジネス学で有名ですが、豊富な種類の授業から選べます。留学プログラム・インターンが盛んです。車で15分離れたところにWrightsville Beachがあり、学校のイベントの開催地にもなります。日本の大学の提携校も数多くあり、日本語学生も居ます。スポーツではバスケットボールに力を入れています。

(2) 留学先大学のサポートについて

語学面でのサポート

レポートやリフレクションを提出する課題が多く、文法も採点対象です。不安な方はライティングセンターで予約をして添削してもらうことをお勧めします。English as a second languageという授業では文法やエッセイの書き方、ディスカッションの練習ができます。

勉強面でのサポート

聞きたいことや勉強の方法、不安なことなどは教授に直接、もしくはメールで相談すると答えていただける教授がほとんどです。ライティングセンターではそれぞれの科目ごとのチューターがいるらしいので、以前受講したことのある学生からアドバイスがもらえるかもしれません。

精神面でのサポート

Health Care Centerがあります。カルチャーショックやストレス、ホームシックを感じたときに気軽にメンセリングとは違い、些細な不安でも相談できるのでうまく活用すると良いかもしれません。

生活・住居面でのサポート

各アパート・寮にはRA (Residence Assistance) という代表生徒がおり、他の寮生の悩みの手助けをしてくれます。自分の部屋のことで気になることがあれば大学のウェブサイトで修繕などの申請ができます。わたしはこのサイトで電灯の中に潜んでいた虫の駆除をしていただきました。

2. 生活環境等について

(1) 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。

最初に部屋につくと自分のベッドや棚、クローゼット、勉強机があります。必要なものとしては、ベッドのシーツ、布団、ハンガー、洗濯ネット、卓上ライト（少し暗いので）、飲料水などです。大抵のものは現地のスーパーで購入できるので、こだわりのあるアイテム以外は日本から持参しなくて大丈夫です。キャンパス内にはウォーターサーバーが数か所設置されているのでボトルと洗浄用具は日本から持ってくるの良いです。寮によりますが24時間冷房・暖房が集中管理されているので、体温調節がしやすい服、冬だと簡易的な加湿器があると過ごしやすいです。部屋選びの際ですが、キャンパス内の寮であれば個室か二人部屋か選べますが、自分の時間を確保するためにも個室を選択することを推奨しま

(2) パソコンについて

PCの保有状況：☒日本から持参した ☐現地で購入した ☐保有しなかった

Wi-Fiの有無：☒有 ☐無

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

Wi-Fiがあります。費用はかかりません。

大学でのPCの使用可否：☒使用できた ☐使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や時間制限等について記入してください。

個人のパソコンを持ち歩いていた人がほとんどでした。持っていない場合でも、大学のRandall Libraryにパソコンがあるので、USBを持ち込んで作業をする生徒もいました。施設内であればどこでもWi-Fiが利用できます。時間制限はありません。

(3) 医療について

Health center（大学内施設として）の有無：☒有 ☐無

留学中に病院で受診したことがありますか。健康管理、衛生面について特に注意すべきことを記入してください。

予防接種をしました。私は乾燥が原因でのどを痛めていたので、のどの薬を用意すると良いです。

(4) 銀行口座について

留学先で口座を開きましたか。どのように準備・手続きをしましたか。

開設しておりません。

(5) 異文化体験について

留学先の文化や習慣の違い等について記入してください。

キャンパス外では黒人の方が多く、“Southern Hospitality”という言葉があるように親切な方が非常に多かったです。寮の中で水蒸気タバコを吸う学生がいたり、夜遅くに音楽を大音量で流す学生がいたので価値観が大きく違いました。キャンパスの外で遊んだり買い物をする際は日本と違って自転車や電車を利用せず、たいてい自動車で移動しなければなりませんでした。

ボランティア等、課外活動を行いましたか。

毎年11月に開催されるボストンキャリアフォーラムに参加しました。有名な日経企業の説明会に足を運んだり、面接の練習もできます。

留学先の安全性や外国人への態度等、留意していたことがあれば記入してください。

キャンパス内は比較的安全で、夜中でも外でランニングしている生徒や洗濯しに外を歩いている生徒がいます。安心できないと感じたら最寄りの安全ステーションで警備の方を呼び出すこともできます。ほとんどの現地の学生や周りの住民は温厚な方が多いので遠慮なく話しかけても良いです。他の交換留学生と価値観の違いで多少揉めることはありますが、理由をしっかりと言えば穏便に暮らせます。

3. 後輩へのアドバイスについて

(1) 現地で参考となった留学先国の情報（HPや出版物等）を記入してください。

大学のホームページ、Google Map、バスの時刻表が載っているパンフレット。

(2) 日本から持参すると良いと思われるものを記入してください。

食べ物であれば日本食や緑茶の粉です。周辺にはアジア圏の食べ物売っているお店があり、日本食がほんの少し置かれています。持ち込むとすれば日持ちする和菓子やおつまみ、インスタントヌードル、料理のソースなどです。ほかにも日本で使い慣れている文房具やボールペンの芯の予備、殺菌効果のある石鹸やのどの痛みや体調不良の際に飲む薬、漫画があると便利です。

(3) 留学したことによって得られたことについて記入してください。

語学力：留学前－資格試験名称 IELTS overall 6.5 点 (級)
 留学後－資格試験名称 _____ 点 (級)

もうじきTOEFLを受験しようと思いますが、留学前と比べて英語の文章を読む抵抗が薄れたり、論理を考えて自分の意見を言えるようになったと思います。

(4) 留学において最大のトラブルは何でしたか。

現地の学生との連絡です。日本ではLINEやFacebook、InstagramやTwitterで連絡する学生が多いですが、UNCWではSMS、すなわち電話番号でやり取りする学生がほとんどでした。なので、Walmartや携帯電話のお店で現地のプリペイド電話機を購入することが望ましいです。

(5) 授業について：クラスの人数、成績評価、現地学生の取り組み方等

少人数型だと25人、講義型だと70人ほどいます。成績評価の大きな特徴は、セメスター内で2回休むと一段階下がるハードな科目もあることです。同じ授業名でも複数の教授が教えている授業があるので、必ず自分の好みに合った教授、評価基準を選びましょう。授業開始1週間は授業の登録・取り下げができるので、気に入った授業、複数のクラスがある授業はすべて受けてから選別してください。多くの学生は平日は自宅か、もしくはカフェの飲み物とともに図書館で予習・復習をしていました。普段は24時間開いていますが、土曜日は12時から17時、日曜日は12時から開くこともあって、土曜日は休憩・パーティ、土曜日の夜から翌週の準備をする学生が多いです。

(6) 留学期間中に就職活動をしましたか。どのように活動したか教えてください。

授業期間中に11月の金曜日～日曜日にボストンキャリアフォーラムへ参加しました。9月ごろに面接の予約をし、スーツを着用し、カバンを通販で頼み、Airbnbで宿泊先を確保しました。イベント当日は自分が気になった企業説明会に行きながら面接に備えていました。

4. 費用について

留学費用の概算を円で記入してください。

- (1) 留学時のレート： 1ドル111円
- (2) 航空運賃： 25万円
- (3) 住居費（月額）： 9万円前後 × 留学期間月数 4 カ月 = 36万円
- (4) 食費（月額）： 5万円前後 × 留学期間月数 4 カ月 = 20万円
- (5) 保険料： 3万5千円(4か月分)
- (6) その他： 外食、娯楽：10万円ほど
- (7) 留学費用の合計： 94万円

5. その他 自由に記入してください。

留学する方に3つアドバイスをしたいと思います。

①授業選び

留学前、日本で現地の大学生よりも前に登録することができます。現地の大学についてから変更したいと思っところにはすでに受け入れ可能人数に達している授業が多いです。まれに空くこともあります。なるべく早く授業一覧に目を通してください。総合大学なので本当に選択肢が多いです。日本では受けられないレアな分野もあります。講義型、ディスカッション型などの違いもあります。優しい教授、厳しい教授もいます。“Rate My Professor”というサイトに行けば教授の評判なども書かれていますので参考にしてください。アメリカの大学において教授との相性は非常に大事です（例えば親身になって自分の相談を聞いてくれるかなど）。シラバスでどんなことを学ぶのかについてもすべて目を通すようにしてください。

②勉強

授業が決まれば、あとは図書館でコーヒーを買って勉強するなり、同じクラスの現地の友達を作るなり、クラブに所属して息抜きをするなり、モチベーションを持続させてください。図書館に行くと日本の大学生以上に日中机やパソコンに向かっている学生、熱心にホワイトボードに書きながらグループプロジェクトを遂行している学生が沢山いるので、負けじと継続して勉強できます。ただ、自分の好奇心に近い授業でないとも難しいので、①の授業選びがやはり一番大事です。

③何にでも1回は試すこと

以前の私の価値観ですが、アメリカの大学生のパーティーにあまり良い印象を持っていませんでした。ある日オランダの留学生の友達と一緒に誘われましたが、行ってみると意外と楽しいことを知りました。知らずに経験しないよりは、1度こういった文化なのかを身をもって経験しておくとも色々学べる

6. 留学先大学のキャンパス等、思い出に残る写真をぜひ添付して送信してください。

